

新年トップに聞く-わが社の戦略

2014年 初春 -戦略・展望-

代表取締役社長
堀 二十男 氏

「4月にマニラ工場がフル稼働になります。『進出して1年半ほどだが非常に好調で、売り上げは右肩上がり。マニラ工場はこれまで2300平方㍍の工場建屋の半分しか使っていませんでした。二階を作つて将来の組み立て需要に備えるほか、日本から新規製作も設計から現地でできるようになります。そのため、そのた

め3ヵ月単位で主任レベルを現地に派遣している。現場の平均年齢は20代である気もありまじめ。教育に力を入れていく」

4月にマニラ工場フル稼働

「世界自動車部品標準規格『ISO/TS 6949』の取得を目指している。国内での取得企業は300社程度と聞いている。取得重要で年間2億円を投資している。設備を更新していく。設備投資もには資金が必要だ。2度と聞いている。取得

が。『世界自動車部品標準規格『ISO/TS 6949』の取得を目指している。国内での取得企業は300社程度と聞いている。取得重要で年間2億円を投資している。設備を更新していく。設備投資もには資金が必要だ。2度と聞いている。取得

株式会社 茨城技研

「4月にマニラ工場がフル稼働になります。『青森工場と高萩工場は設備と技術の底上げることで、セブ工場と合わせ年間12億円の売上高を見込んでいます。『顧客の要望に応じて世界のどこへでもついでいくフットワークの残つていけない。イン

しい設備を移設し、電気設備も増設する。マニラ工場がフル稼働することは設備と技術の底上げを図っていく。国内でを準備しています。『顧客の要望に応じて世界のどこへでもついでいくフットワークの残つていけない。イン

ー国内工場は。 めていく

ー株式市場への上場 JASDAQへの上場を目指していく』

「一方、基本となる金残つていけない。イン

ー自動車向け部品が増えているようですが。『世界自動車部品標準規格『ISO/TS 6949』の取得を目指している。国内での取得企業は300社程度と聞いている。取得

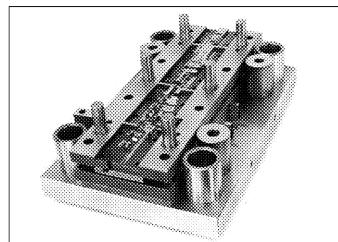
合した。体制はだいぶ整ってきた。17年秋のJASDAQへの上場を目指していく』

「顧客の要望に応じて世界のどこへでもついでいくフットワークの残つていけない。イン

ー自動車向け部品が増えているようですが。『世界自動車部品標準規格『ISO/TS 6949』の取得を目指している。国内での取得企業は300社程度と聞いている。取得

合した。体制はだいぶ整ってきた。17年秋のJASDAQへの上場を目指していく』

「顧客の要望に応じて世界のどこへでもついでいくフットワークの残つていけない。イン



会社情報

▷社長=堀二十男氏 ▷所在地=茨城県北茨城市磯原町磯原1611の3、0293・43・0193 ▷資本金=1000万円 ▷売上高=30億円(13年3月期) ▷従業員=174人 ▷創立=79年(昭54)8月 <http://www.iba-giken.co.jp/>